

2022-23 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1529回(36)

会長 笹田 博之 幹事 内山 春夫

クラブ会長テーマ



「想像力を高めて変化に対応、社会に貢献」

日時	2023年5月23日(火) 12:30 ~
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「それこそロータリー」 ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照) 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告

その他情報

メイクアップ情報(来週分)
メイクアップ情報(再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



IMAGINE
ROTARY

【 会 長 報 告 】

ロータリーの新たな 7 つ目の重点分野は(環境)です。主旨、取り組みにつきましては天然資源の保全及び保護を促進し、環境の持続可能性を高めつつ人との調和の促進、また地域特有のソリューションと革新を推奨しながら気候変動と環境破壊の原因、及びその影響の削減に取り組むアプローチを行っています。地球環境の保全に関しましては産業革命以来、人類、文明の発展には化石燃料が大きく寄与してきました。また現代の私達における移動手段としての車は大変重要なものではありますが近年は環境保全、資源保護などの観点から世界的に先進国の自動車メーカーは EV 車 (Electric Vehicle・電気自動車) を発表、発売するようになりました。自動車というものが発明された 20 世紀初頭より 100 年以上に渡り化石燃料を燃焼させる内燃機関(エンジン)を動力源としてきた事からの歴史的な一大変換期となります。通常ガソリン、ディーゼル車は燃焼により二酸化炭素や窒素酸化物を排出しますが EV 車はそれら環境負荷物質を一切出さないゼロミッション車です。そんななかで世界で初めて自動車を世の中に出したドイツの車メーカー(メルセデスベンツ)は [2030 年完全 EV 化] を発表してその他の欧州車メーカーも追従しています。

EV 車はまさに環境保全の切り札であり時代の大きな変換期となります。但し今後にむけて近い将来全ての車が EV 化されることにははなはだ疑問を感じるところです。まず第一に長距離を走る場合充電に時間がかかること、さらには充電の為にインフラ設備の充実、現時点では車両価格も高額なうえバッテリーが故障した時の修理に多額の費用がきること。さらに重要なのは EV 化の為に大量な電気を発生させることに対する別の環境に対する負荷、EV 車を廃車にしたとき産業廃棄物として環境に影響をあたえない為のバッテリー処理の取り扱い等、さまざまなクリアしなくてはならない課題があります。日本国内に目を向けると欧米にくらべて EV 車が占める割合は少ないなか今後国内自動車メーカーが EV 化を進めるのか、または開発技術の発達により水素を原料とする燃料電池車が開発されるのかなどどの方向にかじ取りしていくのかは興味深いところです。

現時点では世界一自動車メーカーであるトヨタ自動車は EV 化にむけて国のエネルギー政策とセットで考えなければ全車両 EV 車化は難しいとコメントしています。最後に飛行機好きである私自身の興味として述べればジェット戦闘機や旅客機のジェットエンジンにかわり電気を動力源とする新たなエンジン開発は車と違い現行のジェット燃料を燃焼させて飛ぶスピードを確保するのも実現不可能であるし、まず現実的ではありません。当面、飛行機に関しましては現状を維持しつつ近い将来においては化石燃料にたよらずに、例えば植物由来のバイオマス燃料を主体の新たな技術によるジェットエンジンが開発が進むものと思われます。

いずれにしてもエネルギー政策に関しては産業革命以来、時代の大転換期にさしかかっていることは間違いありません。

【プログラム情報】

《新会員卓話・・・松本京子さん》



自己紹介

出身 尾道市(生まれた時から犬のいる生活)
近畿大学附属福山高等学校(福山)→
広島コンピュータ専門学校→社会へ
専門学校入学時 →バブル崩壊
世にも恐ろしい社会情勢の中、社会へ
人生の転機 転職 →「ネスレ日本(株)」入社

ネスレ日本(株)

営業部での活動以外に、新商品開発、イベント含めた様々な企画など
(キットカット、コーヒー、ドルチェグスト、バリスタ
日本立ち上げメンバー)

多くの経験と、上司、先輩、お取引先様に恵まれた会社員生活を送る
事件！！

癌が発覚！緊急入院で岡山大学へ(リーマンショック)

無事に手術は終わり数か月後に復帰

(入院中に院内で子供たちの実情に触れる)

2011年東日本大震災(災害に対して出来る事を考える)

→ 約15年お世話になった会社を退職

Lazo(ラソ)について

○情報誌作成

広島県限定 ペット専用のフリーペーパー(2015年11月創刊)

発行部数 15000部(8月20000部)設置店約500箇所→600箇所

設置 動物病院、ペットショップ、カフェ、住宅メーカー、その他様々な施設

特徴 動物病院、行政、学校、民間企業

意味 絆 繋ぐ(スペイン語) 人と人、人と社会、人と動物、社会と動物

○イベント企画運営

・一般企業様

・学校、獣医師会共催の大型イベント(福山・広島)

○商品企画・開発○販売促進・販路拡大○企業コンサルティング

○テレビ、ラジオなどマスコミ対応

その他

○防災取り組み(前職での取り組みに感銘を受け)

- ・防災士・ペット災害危機管理士

(福山市動物愛護推進委員、福山市防災リーダー)

個人、行政、地域の防災活動の取り組みを実施。

広島、岡山、千葉県など。

現在、竹中先生を始め広島県獣医師会、広島県庁危機管理課、防災家の方などの有志とペット同行避難を始め、人の防災について取り組みを進めている。

「誰一人取り残さない防災」「ペットがいるから避難しないをやめる」

その為に、先生方と動物との暮らし、適正飼養、適正飼育などの啓発として、3年前より福山では穴吹ビジネス専門学校動物看護科などの生徒さん達とイベントを開催。

1+わんわんフェスタ

2021年、コロナ禍で学生達は入学式、卒業式もなし、授業はオンライン。

親元を離れた学生達は経験出来るものも、人とコミュニケーションさえも取れない中、私たち大人に出来る事はないか？と相談。

但しコロナ禍の為、広島県、福山市からの要望は多く、一人でも感染者が出た場合は来年以降実施は不可とのプレッシャーの中徹底して準備を進める。

獣医師会の先生方、その他企業様の協力により、「かわまち広場」にて

「1+わんわんフェスタを開催」。

人と動物達が共に生きるをテーマに、地域活性、マナー向上などを目的とし、

1年目は約1000名(犬約500頭、その他約10頭)、昨年は3000名(犬約800頭、その他約10頭)近い来場者と共にイベントを開催。

学生達の弾ける笑顔や行動に、来場者だけではなく多くの大人に勇気と希望を与えてもらったイベント。

1+わんわんフェスタ2023

日時 10月29日(日) 10時~16時

会場 ビックローズ(仮)

今回で3回目の開催、1年生は3年生となりイベントの準備も先輩後輩で計画中。

世代、性別を超え、地域と共に人と動物たちが安心安全で暮らせる街を目指して準備を進めています。

補足

日時 11月19日(日) 10時~16時

会場 ゲートパーク広島 (上野学園)

絶賛、協賛企業様募集中です！

宜しく願い致します。

ボランティア活動

○ベビーマッサージ講師

自身の病気をきっかけに子育て世代の親子のコミュニケーションの場所、
時間、情報提供など(月に一度、教室を開催し孤立しない子育て、地域全体で子育てを応援)

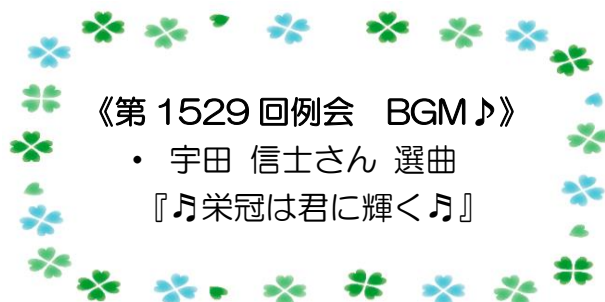
○ヘアードネーション(髪の毛の寄付)

入院先にて、病気で入院している子供達の実情を知り、心のケア、それに伴うご家族の
医療費負担軽減になればとの思いでスタート。

小児用カツラー人分 → 最低31cm(長さ)×約30人分

例 約20万円~25万円(当時)現在約30万円

【その他報告】



【 クラブ 活 動 報 告 】

《 釣 り 同 好 会 （ 五 目 釣 り ） 》

日時 : 5月21日(日)

場所 : 走島周辺





イマジン
ロータリー